

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	LEIF 手稲		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日		～ 2026年 3月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	サッカー経験のある職員が複数名いるため、サッカーに関する技術的支援に厚みがある	児童の技術の習得度や理解度に合わせ、個別支援、個別指導を行っている。	児童一人一人の特性を理解した上で、一人一人の「得意」をさらに伸ばしていけるよう支援策を協議していく
2	職員の年齢層が若いため、児童とのコミュニケーションが取りやすく、和気あいあいとした雰囲気での活動できる	一人一人の興味関心に合わせた話題を用いる事で、児童が楽しめるように支援している。	年齢相応の支援、療育を行っているよう、支援策を模索していく。
3	福祉経験やスポーツ経験、スポーツ指導経験豊富な職員が在籍しているため、児童一人一人のニーズに合わせた支援を行うことができる	療育中の様子を見ながら、適宜適切な支援を行っている。	療育の振り返りを密に行う事で、一人一人に対してより適切な支援策を模索し、療育を行っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域交流、地域連携	児童クラブや児童館との交流、連携が取れていない。	通所児童が通っている施設をはじめ、地域施設との連携、交流を図っていく。
2	事故や災害、非常時等の事業所としての安心安全に関する取り組みが、半数以上の保護者に伝わっていない	契約時や面談時、送迎時等で口頭で保護者に伝えているが、浸透していない事が想定される。	避難訓練等の活動の様子を発信するとともに、安全に関するマニュアルを事業所に掲示する事で見えるかを図り、児童・保護者に案陣して利用してもらえるように改善していく。
3	ご家庭・事業所一体となった支援が浸透していない	お子さまの様子や支援について、保護者様にお伝えしているが深い理解にまで至れていない。	日ごろからのコミュニケーションを密にすることで、保護者様のご理解とご協力をいただける環境を構築していく。